

委員退任挨拶



会員
北條 三郎

この度、一身上の都合により委員を退任する事になりました。

今年度より近くの交流館で土曜、日曜絵画教室を始めており、土、日は三ヶ所の為、委員会等出席出来ない状態です。

絵が出れば教室等やらなくても済むのですが、今年度は地元の画廊での個展やイオンでの個展はいずれも失敗に終わりました。

又、五月には娘の死去(乳癌肝転移)、妻の病気等で大変でした。

九月にやつと娘の墓が出来た次第で、納骨は好きだった桜の季節にしたいと思えます。

娘は苦勞して武蔵野美術大学(油絵学科)を卒業後、県展、市展他頑張っており、これからという時に残念です。

残された作品の遺作展を、桜が終わったらと考えています。

新委員紹介



新委員
水野 美預子

委員の委嘱を受け、さて私に務まるのか?と云うのが、最初の感想でした。また、委員会に参加して感じたのが、皆さん真面目だなあ、ということでした。それで、新日美の会がスムーズに行っていることが、肌で感じられました。

微力ですが、会の発展になるよう努力したいと思えます。また、少しでもより良い作品に仕上げよう出品することが必要だと思っております。



私の一枚
日向夏みかんと布
(水彩画 10号)

新委員紹介



新委員
保田 昌子

この度工芸部の委員を仰せつかりました保田昌子でございます。山口県岩国市在住ですが出身は東京の大田区です。

新日本美術協会には二〇〇九年(三三回)に初めて出品させていただきました。

それ以降ほぼ毎年出品させていただきその間には大きな賞も頂き昨年は衆議院議長賞を頂き大変光栄に思っております。

昨年工芸部の委員をとお話を頂き遠方に住んでいる事その他今の生活環境でお引き受けするのは心苦しかったのですが???何故か引き受けてしまいました。

思うようにお手伝いが出来ればよいのですが?色々ご指導いただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

色彩についての講演会報告

7月14日(日) 日展会館 講師 土屋 政夫

七月一四日(日)、鶯谷の日展会館において講師土屋政夫委員による講演会が開かれ、一般参加者多数を含む総勢二一名の受講者が集まりました。

色彩の基本知識や配色等の話があり、会員相互の交流と共に一般の方々へ当会の扉を開くということでも成果を上げた催しとなりました。

一般参加者達からは、絵作りや作品背景の色彩表現の参考になった、趣味仲間での集まりや新聞、雑誌の記事等では得られない生の講義が聴けて良かった、気軽に参加出来る単体イベントが良かった等の意見が聞かれました。

スタッフ 篠 光定



実演中の土屋講師